

(3) 老人福祉専門分科会

高齢政策課

老人福祉専門分科会

1 開催状況

- (1) 日 時 令和6年3月8日(金) 15:00~17:00
- (2) 会 場 兵庫県民会館3階 303会議室
- (3) 出席委員数 8名
- (4) 議 事
 - ア 高齢者の地域生活を支える施策等の推進（報告・審議）
 - イ 認知症施策の総合推進（報告・審議）

2 主な意見

- (1) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について
人生の最終段階について在宅で最後を迎えたいという方も一定数おられるが、こうしたいという意思表示をしてミスマッチが起こらないような施策を県として推進してほしい。
- (2) 介護報酬改定について
国の介護報酬の改定が示され、訪問介護の基本報酬がマイナスとなるが、中山間地域の事業者は運営が難しくなってくる。実態を把握するとともに、介護人材の確保のためにも、介護職員のさらなる処遇改善に取り組むべきである。
- (3) 自立支援介護の推進について
事業者がリハビリなどを頑張った結果、介護度が低くなると事業者の収入が減る制度になっている。頑張った事業者が報われるようなインセンティブを与える制度を検討すべきである。
- (4) 後見人制度について
選任された後見人が、家族状況がわからず、適切な後見人活動ができていない場合があると聞いている。
本人にとって生活実態を踏まえた適切な後見人が選任されるよう、人材育成等に取り組んでほしい。
- (5) 認知症施策について
 - ア 認知症サポーター養成講座を受講しても、実際に認知症の人と接する際にどう対応するかに困っている。傾聴の方法などのフォローアップ研修の実施を要望する。
 - イ 施設や家庭で介護している人が、気軽に認知症についての助言を医師から受けられるような体制を整備してほしい。